

製造業安全対策官民協議会
事務局殿

2018年8月9日
一般社団法人 日本化学工業協会

「2018年度日本化学工業協会事業計画」における
神戸宣言の4つの経営理念に関わる安全の取組

2018年3月16日に開催された日本化学工業協会（日化協）理事会において承認を受けた「2018年度日本化学工業協会事業計画」において、神戸宣言の4つの経営理念に関わる安全の事業活動計画を、以下のように報告する。

目次：

- I. 企画運営における、4つの経営理念との関わり
- II. 事業活動における、4つの経営理念との関わり

なお、各事業計画の左記で示す数字〔*〕は、製造業安全対策官民協議会・神戸宣言の4つの経営理念の項目を示す。

I. 企画運営における、4つの経営理念との関わり

1. 会長方針 <〔一〕>

日化協の淡輪会長は、日化協の活動の中で「操業および製品にかかわる安全の強化」「新たな価値の創造と持続可能な社会の構築への貢献」「社会とのコミュニケーション強化」の3つの重点ポイントを掲げている。そのうち第1のポイントである「操業および製品にかかわる安全の強化」は、以下の通りである。

化学産業は、レスポンシブル・ケア（R C）倫理に基づき、化学品の開発・製造から使用・消費・リサイクル・廃棄に至る全てのライフサイクルにおいて、環境・健康・安全に配慮することが強く求められる。特に、操業面での保安・安全の確保は最重要のテーマである。残念ながら近年も深刻な事故が発生している状況は変わっておらず、継続的な取り組みが必要であると考える。「環境・健康・安全に関する日本化学工業協会基本方針」のもと、「安全確保の取組みが新たな価値を生み出していく」という一歩踏み込んだ視点を継承し、各種取組みを実施していく。

また、製品にかかわる安全確保の取組みについては、持続的発展に向けたリスクベースの化学品管理の普及及び促進を継続していく。

2. 環境・健康・安全に関する日本化学工業協会基本方針 <〔一〕>

化学品の製造・販売・流通等に関わる企業は、そのライフサイクル（化学品の開発・製造から使用・消費・リサイクル・廃棄に至るまで）において、環境・健康・安全を確保し、その取組みを継続的に改善することによって、人々の生活の質の向上と持続可能な社会の実現に貢献することにより、社会からの信頼の向上に努めねばならない（レスポンシブル・ケア活動）。

この目的達成のため、われわれ日本化学工業協会の会員は、以下の「環境・健康・安全に関する日本化学工業協会基本方針」に従って事業活動を行うものとする。

- 1) 経営層自ら強いリーダーシップを発揮し、国内外での環境・健康・安全の確保に努める。
- 2) 製品の開発から廃棄に至るまでの全ライフサイクルにわたり環境・健康・安全のパフォーマンスや、施設・プロセス・技術に関わるセキュリティの継続的改善に努め、その成果を社会に公表する。
- 3) 省資源及び省エネルギーを一層推進し、廃棄物の削減及びその有効活用

努める。

- 4) サプライチェーンにわたって化学品の安全性とプロダクト・スチュワードシップの継続的改善を促進することにより、環境と人々の健康・安全を守る。
- 5) 化学品のライフサイクルにわたる健全な科学に基づくリスクベースの化学管理の法規策定に参画し、ベストプラクティスを実践することにより、化学品管理システムを強化する。
- 6) ビジネスパートナーに対し化学品の取り扱いが安全に管理できるよう働きかける。
- 7) 製品及び事業活動が環境・健康・安全に及ぼす影響に関して、行政当局及び市民の関心に留意し、正しい理解が得られるよう必要な情報を開示し、対話に努める。
- 8) 環境・健康・安全に関する活動に対するステークホルダーの期待に一層応えるため、地域、国及び世界的規模の対話活動を更に拡大する。
- 9) 革新的技術やその他のソリューションを開発・提供することにより社会の持続的発展に貢献する。

3. 組織運営における実施事項 <〔一〕〔二〕〔三〕〔四〕>

1) 理事会：1回／3ヶ月の開催

経営トップが、日化協の安全活動の状況、化学業界および官学における取組、また事故情報等を共有し、日化協及び個社等の安全活動の向上を継続して図る。

2) 保安防災部会：1回／2ヶ月の開催

- ・保安事故等の情報共有・意見交換等の実施。
- ・保安事故防止検討WGによる、保安事故防止ガイドラインの作成やトラブル等の解析、スマート保安への対応で検討会、委員会への参画。
- ・関係団体の取組・活動への参画

3) 労働安全衛生部会：1回／2ヶ月の開催

- ・労働災害等の情報共有・意見交換会の実施。
- ・厚労省の労働災害集計資料、国内の各種検討会、及び法改正の動きへ対応するための、内容の把握、周知、情報発信。
- ・関係団体の取組・活動への参画

Ⅱ. 事業活動における、4つの経営理念との関わり

1. レスポンシブル・ケア活動 <〔一〕〔四〕>

化学品のライフサイクル（化学品の開発製造から使用・消費・リサイクル・廃棄に至るまで）において、環境・健康・安全を確保し、その取り組みを継続的に改善、および、その活動の公表と社会との対話・コミュニケーション。

2. 「石油コンビナート等における災害防止に関する取り組みについて」

<〔一〕〔二〕〔三〕〔四〕>

3省合同連絡会からの要請に基づく業界団体として取り組むべき事業活動の実施と報告

3. 「製造業安全対策官民協議会」への参加とその活動 <〔一〕〔二〕〔三〕〔四〕>

4. 安全教育・人材育成

1) 産業安全塾 <〔一〕〔二〕〔三〕>

2) 生産現場リーダー研修 <〔三〕>

3) (公財) 千葉県産業振興センターの人材育成講座の支援 <〔三〕>

4) ケミカルリスクフォーラム <〔三〕>

適切な化学品管理と関連する情報伝達を担う人材育成

5) 「危険物輸送における安全管理」講習会 <〔三〕>

5. 安全表彰と安全シンポジウム（公開） <〔一〕〔四〕>

また、この安全表彰の事例を集めた「保安防災・労働安全衛生活動 ベストプラクティス集」の発行

6. 労働安全衛生実態調査と報告書の作成（対外公表） <〔四〕>

会員企業および協力会社の安全成績、および重大災害等の事例の調査

7. 日化協アニュアルレポート及び資料編の作成 <〔一〕〔二〕〔四〕>

設備災害・労働災害の発生状況、保安防災対策投資額、レスポンシブル・ケア活動の自己評価の掲載

以上